

# 令和4年度和裁士技能検定（1級）学科試験解答

実施日：令和5年3月12日  
所用時間：90分

1. 次の着装に関する説明文の中で、正しいものには○、誤っているものには×を（ ）の中に記入しなさい。（配点5点）

- ① ( × ) 女物和服の礼装用の帯には、染物が適している。
- ② ( × ) 男物長着の通し裏の揚げは、必ず肩山にする。
- ③ ( ○ ) 女物の道中着・道行コートは、室内では着用しない。
- ④ ( × ) 女物の羽織の袖丈は、着物の上に着用するので着物より長くする。
- ⑤ ( ○ ) 本裁女物長着の裾廻しが短尺物の場合、前裾布から袖口布を取る場合がある。

2. 下の表は和服の紋下りを記したものです。表を完成させなさい。《※鯨尺でもcmでもよい》（配点5点）

	本 身	四 っ 身	一 っ 身
背紋下り (衿付けより)	5.7cm 1寸5分	( 4.5cm ) ( 1寸3分 )	( 4cm ) ( 1寸 )
袖紋下り (袖山より)	( 7.5cm ) ( 2寸 )	6.5cm 1寸7分	( 6cm ) ( 1寸5分 )
抱き紋下り (肩山より)	1.5cm 4寸	( 1.3cm ) ( 3寸5分 )	1.1cm 2.9～3寸

3. 次の紋の名称を下記の語群から選び（ ）の中に記入しなさい。（配点10点）  
また、よみ仮名を《 》の中に記入しなさい。



( 剣片喰 ) ( 五七の桐 ) ( 木瓜 ) ( 橘 ) ( 桔梗 )  
《けんかたばみ》《ごしちのきり》《もっこう》《たちばな》《きぎょう》

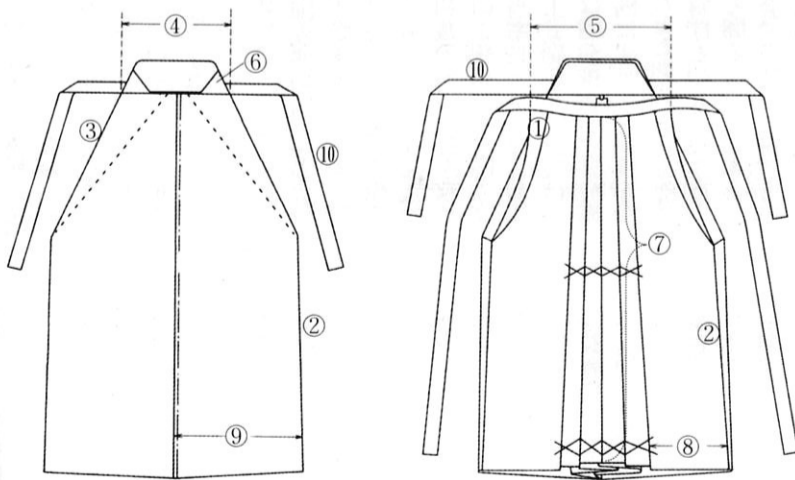
- ・剣片喰 ・九曜星 ・五七の桐 ・木瓜 ・橘
- ・梅鉢 ・違い鷹の羽 ・桔梗 ・蔦 ・五三の桐

4. 次の説明文の（ ）の中に、適当な語句を記入しなさい。《※鯨尺でもcmでもよい》（配点5点）

- ① 名古屋帯の太鼓の柄は、垂先から柄の中心まで（ 1尺8寸/68.2cm ）にする。
- ② 女袴の紐寸法は、着丈の（ 7/10 ）が標準である。
- ③ 名古屋帯の手丈は（ 胴回り×2+2尺/75cm ）くらいである。
- ④ 女物千代田衿の小衿布は、道行衿コートより（ 2尺7寸～3尺/1m～1.1m ）くらい多く必要である。
- ⑤ 女物着尺で、掛衿を2本取りする場合、（ 1尺3寸2分/50cm ）余分にあれば出来る。

5. 男物襦袢（馬乗袴）を前から見た場合と、後ろから見た場合の完成図を描き、下記部分がよくわかるよう、それぞれ所定の位置に記号を入れなさい。（配点 図10点/名称10点）

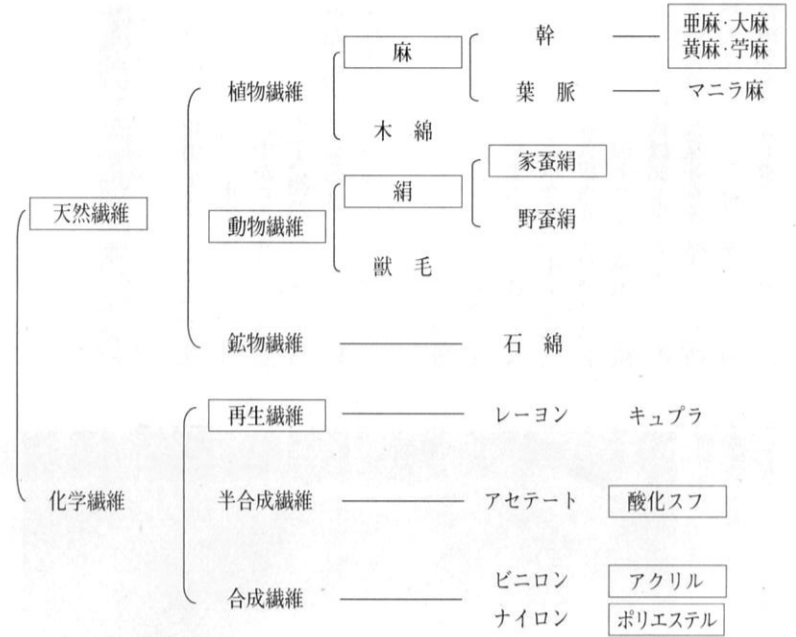
- ① 笹ひだ ② 相引 ③ 投げ ④ 後腰幅 ⑤ 前腰幅
- ⑥ 付菱 ⑦ 紐下 ⑧ 前脇幅 ⑨ 後幅 ⑩ 後紐



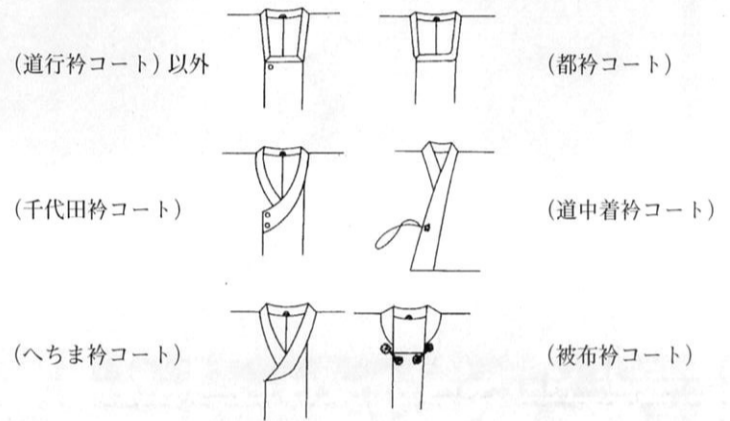
6. 男物襦袢（馬乗袴）と仕舞袴の違いを5つ示しなさい（配点10点）

- ① ( 1のひだの奥が浅く、ひだのすぐ内側をとじつける )
- ② ( 相引が低い )
- ③ ( 裾高が高い )
- ④ ( 腰板は木製 )
- ⑤ ( 後ろひだは袋ひだにせず、片ひだとする )

7. 下の表は繊維の分類を示したものです。表を完成させなさい。（配点10点）



8. 女物コートで道行衿以外のコートの図と衿の名称を2種類示しなさい。（配点10点）



9. 次の5問について、各部分を寸法に応じ配分し、その名称をよく分かるように記入して裁断図を書きなさい。（裁ち切は実線、折り山等は点線で記入）（配点各問5点）

- ① 並幅物12m12cm(3丈2尺)の反物で、一ツ紋付本裁女物長着を下記指定寸法で追い裁ちにしたい。  
裁断図および各部の寸法と名称、紋の位置を記入しなさい。  
身丈背より出来上がり160cm(4尺2寸3分)・袖丈出来上がり51.1cm(1尺3寸5分)  
繰越2.6cm(7分)・裾下(衿下)出来上がり79.5cm(2尺1寸)・他は標準寸法とする。  
(注) 袖の前後、上前身頃、上前衿、上前共衿、上前裾裾などの位置を明記すること。

後袖	前袖	後袖	前袖	後身頃	上前身頃	後身頃	下前身頃	衿	下前衿	衿	上前衿
55cm	55cm	55cm	55cm	169cm	169cm	169cm	169cm	157cm	157cm	157cm	157cm
145	145	145	145	447	447	447	447	98.5cm	98.5cm	216cm	216cm
								前	前	前	前

② 並幅物10.2m(2丈7尺)の反物で、男物襦袢(馬乗り)袴を作りたい。その裁断図を記入しなさい。

後脇布	後脇布	前脇布	前脇布	前脇布	前脇布	付菱	後腰布	付菱	前裾布	後裾布	前裾布	後裾布

③ 並幅物11.8m(3丈1尺2寸)の反物で、留袖用比翼を作りたい。その裁断図を記入しなさい。ただし、袖は口・振とし、衿裏共布とする。

裾	裾	裾	裾	衿	地衿	共衿	振	振

④ 並幅物15.2m(4丈)の反物で、四っ身長着(共裾)と羽織を裁ちたい。その裁断図を記入しなさい。

長着袖	長着袖	羽織袖	羽織袖	裾返し	前身頃	後身頃	裾返し	前身頃	後身頃	裾返し	前身頃	後身頃

⑤ 大幅物6m(1丈5尺8寸)の反物で、女物長着を作りたい。その裁断図を記入しなさい。

袖	袖	身頃
共衿	地衿	
衿	衿	